

出願番号	特願2016-024363	管理番号	OPO1153
発明の名称	免疫機能の検査方法、がん患者の選別方法、がんの治療効果予測方法、細胞内カルシウムイオン濃度上昇剤、腫瘍組織におけるエフェクター・メモリー(EM)とエフェクター(eff)の選択的機能向上剤およびがん治療薬		
この特許が使われる産業分野・用途	免疫系の賦活及び評価に有効な技術である。		
技術の概要	CD8T細胞の免疫機能の低下を免疫刺激剤処理後の細胞内カルシウムイオン濃度の推移によって評価する検査方法である。細胞内カルシウムイオン濃度が一過性にしか上昇しないCD8T細胞は免疫機能が低下していると判断し、ピグアニド系剤とがん免疫治療薬との併用による奏効が期待できる。よって、がん患者末梢血由来CD8T細胞における免疫疲弊度の評価法で、ピグアニド系剤併用によって免疫能が回復する可能性のある患者の選定法が可能である。		
請求項	<p>【請求項1】末梢血CD8T細胞に対する免疫刺激剤適用による、細胞内カルシウムイオン濃度の上昇が一過性であることを指標とする、免疫機能低下の検査方法</p> <p>【請求項2】請求項1の検査方法で免疫機能低下と判断された患者に対する併用療法を選択するがん患者選別方法</p> <p>【請求項3】がん治療薬を限定したがん患者選別方法</p> <p>【請求項4】予測する工程を限定したがん患者の選別方法</p> <p>【請求項5】CD8T細胞の細胞内カルシウムイオン濃度上昇剤</p> <p>【請求項6】CD8T細胞の種類を限定した細胞内カルシウムイオン濃度上昇剤</p> <p>【請求項7】腫瘍組織におけるエフェクター・メモリーとエフェクターの選択的機能向上剤</p> <p>【請求項8】腫瘍組織内のグルコース濃度を限定したがん患者に投与されるがん治療薬</p> <p>【請求項9】がん治療薬を投与後にがん患者から抽出されたがん組織のモニタリング方法</p> <p>【請求項10】がん治療薬を限定したがん治療薬の効果のモニタリング方法</p> <p>【請求項11】フローサイトメーターにより解析と限定したがん患者選別方法</p> <p>【請求項12】細胞を限定したがん治療薬の効果のモニタリング方法</p> <p>【請求項13】工程を限定したがん治療薬の効果のモニタリング方法</p>		
その他:	3種のサイトカイン産生能評価と比較して、検査上(時間・パラメーター数)優位性が認められる。		

問い合わせ先 : 岡山大学 知的財産本部 渡辺 裕
 電話 : 086-251-8472
 メール : wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp